

支部発行過去文献の電子化保存と公開に関するお願い

日本気象学会関西支部

【経緯】

日本気象学会関西支部では2008年の総会で、支部発行の過去文献（具体的には年会や例会の要旨集や予稿集、及び、夏季大学のテキストなどを指し、近畿地区例会要旨集には海洋気象学会の論文も含む。以下「掲載論文等」と略す）の電子化に向けて、今後、常任理事会で検討を進めていくことが決議されました。過去文献の電子化保存・公開は会員の研究の便宜を図るのみならず文化史的にも意義のあることから、常任理事会は、支部独自の事業として積極的に推進することとしました。

なお、電子化保存・公開する過去文献の範囲は今のところ1975年（昭和50年）以降のものとし、それ以前のものにつきましては、紙の文献の保存状態が悪く、さらに支部における保存が部分的であることなどにより見送ることとしました。

すでに文献の電子化は保存の観点から進めていますが、公開に際しては著作権を持つ全ての著者の許諾を得る必要があります。しかし、これは現実的にはほとんど不可能です。

そこで、2006年から2007年にかけて、気象学会本部が「天気」の掲載記事に関し著作権の委譲を求めた例に倣い、関西支部でも同様の方法で、来年度総会開催前までの期間、著作権委譲のお願いを支部ホームページなどに掲載し、ご異議が寄せられないものに関してのみ公開の手続きを踏みたいと考えています。なお、海洋気象学会につきましても、同様の手続きを進めるよう調整しております。

6月に開催された2009年度の総会では、以上の理事会からの提案が賛成多数により可決され、事業を推進することになりました。

【著者の皆様へのお願い】

そこで、ここに1975年以降の支部発行の過去文献（具体的には年会や例会の要旨集や予稿集、及び、夏季大学のテキストなど）のすべての著者の方々に対し、当該記事の著作権を日本気象学会関西支部に委譲下さいます様お願いする次第です。

ただし、電子化による保存は行いますが、公開を希望されない論文やテキストについては、お知らせいただければ公開の対象から除外します。この取り扱いについて、ご質問、ご意見がある場合は、日本気象学会関西支部事務局までお知らせください。

2010年度総会開催前の5月末日までを意見のお申し出期間とし、それまでにご異論がなければ、1975年以降の支部発行の過去文献について著作権を学会に委譲されたものとして、電子化された文献の公開対象といたします。

電子化保存・公開事業は研究の便宜を図るのみならず文化史的にも大変意義のある事業です。気象学会会員及び著者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また、本年度（2

009年度)以降の掲載論文等につきましては、「天気」同様、著作権を関西支部に(海洋気象学会員分は海洋気象学会に)委譲いただくことを条件に募集することとしたいと考えます。支部学会員の方々におかれましては以上の趣旨をご理解いただき、ご賛同下さいますようお願いいたします。